

4月から

「第2期芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートします

芦別市の人口減少の抑制と持続可能なまちづくりを目指す

本年度、市では、人口の現状と将来展望を示した「人口ビジョン」について見直しを行うとともに、引き続き人口減少対策に取り組み、持続可能なまちづくりを目指すため、産業振興や交流人口の拡大、出産・子育て等に係る施策を盛り込んだ「第2期芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「第2期芦別市総合戦略」という。）の策定作業を進めてきました。

「人口ビジョン」では、本市の令和22年（2040年）の目標人口を、平成30年に国立社会保障・人口問題研究所が公表した人口推計の6,559人を下回らないことを目標とし、「第2期芦別市総合戦略」では、次の4つの基本目標と目指すべき成果を数値目標として設定し、具体的な施策を定めて取り組みを進めてまいります。

■基本目標Ⅰ 「星の降る里・芦別」に安定した雇用を創出する

- 数値目標／市内企業における新規雇用者数：5年間で200人を目指す
※平成30年度実績＝39人（市の制度を活用して就職した人数）
- 具体的な施策／農林業振興、企業誘致・地場産業振興、雇用拡大・人材確保対策など

■基本目標Ⅱ 「星の降る里・芦別」への新しい人の流れをつくる

- 数値目標／社会移動数（転入者数－転出者数）：5年後に社会減の人数を100人まで抑制する
※平成30年度実績＝社会減の人数150人
- 具体的な施策／観光や合宿を通じた交流人口の拡大、移住・定住対策など

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 数値目標／婚姻届出数：5年間で150件を目指す
※平成30年度実績＝28件
- 具体的な施策／出産・子育て支援、教育振興など

■基本目標Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 数値目標／本市に住み続けたいと思う市民の割合：5年後に50%以上を目指す
※平成30年度実績＝48.2%（第6次芦別市総合計画策定に係る市民アンケート結果より）
- 具体的な施策／高齢者支援、防災・減災対策、他自治体との広域連携など

「第2期芦別市総合戦略」に係る取り組みの推進にあたっては、毎年度、施策の進捗状況や効果を取りまとめて、産業、教育、金融、労働などの関係団体からの推薦委員と公募委員で構成する「推進会議」において効果検証し、必要に応じて総合戦略の見直しを行います。この「推進会議」は、2年ごとに委員を公募しており、どなたでも会議を傍聴することができますので、市民の皆さんの積極的な参加をお願いします。

●詳細 まちづくり推進係